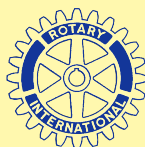


VOL. 2718

Rotary International

「新たなる挑戦と奉仕で繋ぐ人と国」

第2718回例会 2021.8.3



富士ロータリークラブ **WEEKLY**

<http://fuji-rc.com/>

例会日:毎週水曜日 12:30
 例会場:ホテルグランド富士
 TEL(0545)61-0360
 事務所:〒416-0913 富士市平垣本町8-1
 ホテルグランド富士内
 会長:石橋 広明
 副会長:佐藤 昌久
 幹事:田村 洋
 副幹事:佐野 力哉

小林ガバナー公式訪問 新富士ロータリークラブとの合同例会



共存の中にこそ自分を生かす道がある

私たちはクラブをかけがいのない場と思い、例会を友愛や学びの場として尊く思ってきました。そして互いを思いやりながら、その心を地域や世界に向けて視野を広げ、活動を広げてきました。日本的な感性でそのようなロータリーを形成し発展させてきたのだと思いますが、日本という風土に見事に適合したロータリーだと思います。一方世界的には、奉仕活動を主体にロータリーを考える傾向にあり、ロータリー財団のポリオ根絶を始めとする取り組みのように、より多くの会員でより大きな奉仕活動を目指すこととなります。実際世界では、それだけ多くのニーズが存在し、ロータリアンの支援を必要としていることも現実です。

ロータリーには最高絶対の単一概念が存在しません。常に「奉仕と親睦」「利己と利他」のように相対的に考えることを要求されますので、一つに決めつけるのではなく、日本的感性のロータリーと奉仕活動の世界のロータリーとを、どのように考えるのかということになります。でもこれは今の私たちにとっては、相反することではありません。どちらか一方のロータリーしかないのではなく、その両方のバランスを上手にとりながらクラブに軸足を置いて、地域や世界で奉仕活動をしているという姿ではないでしょうか。当然クラブや例会を自己研鑽の機

会と捉えてもいるでしょうし、人格形成の場ともしているでしょう。そしてそういう自分を他者のために活かすことも大きな使命とされているのだと思います。一人では生きられない共存の中にこそ自分を生かす道があるということだと思います。

RI会長テーマ「SERVE TO CHANGE LIVES」

今年度のシェカール・メータRI会長はテーマに

「SERVE TO CHANGE LIVES 奉仕しようーみんなの人生を豊かにするために」を掲げられました。そしてキーワードは「GROW MORE DO MORE」で、若い世代と女性をロータリーに迎え入れて会員基盤を強くし、人々の人生が豊かになるよう奉仕活動をしましょう、と要請されました。世界的なニーズに応えるロータリーの傾向に合致した年度テーマだと思います。

地区においてクラブにおいてこの要請をどのように具現化するのかということ、会員基盤の強化については私なりの取組方策を提示させていただき、ロータリー奉仕デーについては各クラブに計画・実施していただくことにしております。会長始め会員皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

Onlineで新たなつながりを

ワクチン接種が進んでいるとはいえコロナ禍で視界不良のクラブ運営になりますのでご苦労されると思いますが、クラブに軸足を置いた例会と奉仕活動のバランスを上手にとり、会員相互の連携を強め、地域や世界で奉仕活動をしてくださるようお願いいたします。

コロナ禍を経験した私たちは、onlineでの新たな繋がり方を手に入れました。Online開催の地区RLIは何回もの実績を礎として、全国的にもトップクラスと高評価されていますし、各クラブにおいてもハイブリット例会やonline例会なども行われています。窮屈で不自由なコロナ禍でも人と人との繋がりには有効な方法ですので活用いただきたいと思います。

ロータリー未来形成 (Shaping Rotary's Future)

今年初めにRIは「未来形成 (SRF)」という新たなプラ

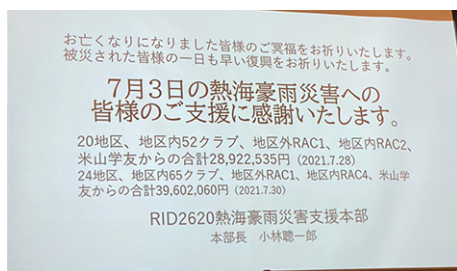
例会プログラム予告

8月25日 卓話

9月1日 クラブフォーラム(国際奉仕)

ン概要を提示しました。主には2030年から始める管理方法改革のためのプランで、2022年4月の規定審議会での審議対象になると言われています。現在分っているのはここまでで、これから提示に対しての意見を取り入れながら形成されていくことです。具体的などのようなものになるのかは現状でははっきりしません。しかしこのようなロータリーの未来に向けての取り組みが始まっていることだけをご承知置きいただきたいと思ひます。今年度これがどのように動き、地区としてどのように対処していくのかも手探り状態ですが、将来の地区にとって不利にならないような検討だけはしていかなければならないと思ひています。

クラブ会長、幹事を始め、会員の皆さまと一緒に、本年度の第2620地区が「GROW MORE DO MORE」出来ましよう、ご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。



出席報告

望月昭宏

2718回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
31名	31名	11名	20名	64.5%

2716回 7/21確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
31名	31名	7名	24名	78%

〔他のRCへの出席者氏名〕 吉野榮司君

上期クラブ協議会(4)

会員増強委員会

委員長 池田正明



コロナ禍において地域経済が非常に厳しい状況下であり、新規会員増強は難しい現状ではありますが、ロータリークラブの存在意義を理解していただき、共に歩む仲間を募っていきたく思ひます。また、現会員が退会するような事の無いようにコミュニケーションを図っていきたく思ひます。

本年度活動計画にも記載させていただきましたが

1. 会員増強対象者は

- ① OB会員のご子息
- ② 退会された元会員
- ③ 現会員の友人知人
- ④ 現会員企業と関連がある企業人
- ⑤ 他クラブ、他サークルからの紹介者
- ⑥ 他

2. 対象者に行う事

- ① クラブ活動の照会、説明
- ② 職業を通じて社会奉仕を理解してもらう
- ③ クラブ行事に参加可能とするためのアドバイス
- ④ クラブ活動へのゲスト参加により実感してもらう

3. 現会員の退会を防ぐ

クラブ会員としての価値観、存在する意識を持つための話し合い

4. 若い世代の方、女性にクラブ理事になってもらうためにはどうしたらよいか。

地区大会時に辰野理事が語られた事

会員増強は

- ① 数ではなく、人選して入会をお願いする。
- ② 量より質
- ③ 目標を立てる

会場監督

委員長 佐藤昌久



本年もコロナ禍での影響を受けながらの例会となりますが、田邊副会場監督と共に例会の進行を努めて参りますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

今年度の方針は以下の通りでございますので、方針に従って進めて参りたいと思ひます。

1. 2ヶ月に1度「座席変更」を実施します。
2. ゲスト、ビジターが同席された際には、ロータリアン同士の友情を深めてください。
3. 例会の開始時間の5分前には着席をお願いいたします。
4. 例会の欠席報告については、富士ロータリークラブ専用のLINE及び電話での早めの連絡をお願いいたします。
5. 卓話で使用する資機材(パソコン、プロジェクター、ホワイトボード等)は、準備の都合上早めにご指示ください。



編集者 植田真晴